

平成26年4月17日  
日本生命保険相互会社

### マレーシア輸出入銀行への投資について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、マレーシア輸出入銀行（CEO: Dato' Adissadikin bin Ali）が発行する債券（米ドル建てミディアムタームノート）に、1億米ドル（約103億円）の投資を行いました。

マレーシア輸出入銀行は、マレーシア政府が出資する政策金融機関であり、国際貿易の発展を目的とした貿易金融の提供や、インフラを中心としたプロジェクトファイナンスを主要事業としております。

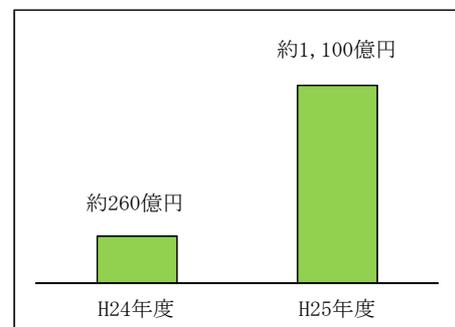
今回の当社からの投資が、貿易金融の円滑化やインフラ整備の促進等を通じて、同国をはじめアジア地域における経済活動の活性化や成長拡大に資するものと期待しております。

当社は、近年、資産運用におけるリスク分散の観点から、グローバルな投資に注力しております。特に今年度より、海外クレジット領域への投資の更なる強化の観点から「クレジット投資部」を新設しました。昨年度は、アジア・オセアニア地域において約1,100億円のクレジット投資を行ってまいりましたが、今後とも、アジアをはじめグローバル規模でクレジット投資の強化・拡大に取り組み、各地の経済・産業の活性化に資する取り組みを通じて社会的責任を果たすとともに、リスク分散に留意しつつ投資先の成長をご契約者様利益として還元できるよう、一層努めてまいります。

#### <ご参考>マレーシア輸出入銀行の概要

名称	マレーシア輸出入銀行 (英名: Export-Import Bank of Malaysia Berhad)
事業内容	貿易金融の提供、 海外プロジェクトファイナンス向け貸付等
本社所在地	マレーシア クアラルンプール
CEO	Dato' Adissadikin bin Ali
株主	マレーシア政府100% (Minister of Finance 99.9%、 Federal Lands Commissioner 0.1%)

#### <ご参考>当社のアジア・オセアニア向け クレジット投資実績



以上